

視察に行ってきました

平成30年度
行政視察
報告①



先進的な取り組みを調査するため視察に行ってきましたので報告します

環境福祉委員会

(参加議員) 原田てつよ 樋之津倫子
馬越裕正 藏本隆文 田口忠義



10月
22~24

健康づくりと フレイル予防



養父市では、フレイル（加齢とともに筋力や認知機能が低下するなど、心身の機能が低下した状態のこと。）を予防するため、様々な事業を行っています。

介護予防教室を毎年全行政区で実施したり、介護予防サポーター研修を行い、修了後もフォロー研修やボランティアのグループ化をするなど、養成をして終わりにしない取組みをすすめています。

総務文教委員会

(参加議員) 藤井義明 大本邦光 天野喜一郎
井木 守 栗尾順三 三谷 渡 森岡聰子



10月
23~25

施設分離型 小中一貫教育



人口が増加している中、観光・国際・防災を中心にハード・ソフト両面で新事業に取り組んでいます。

教育では、小中連携・一貫教育推進基本方針策定後、今年度より調査研究実践モデル校区を中学校単位で順次指定し、平成33年から本格実施されます。ほとんどが既存校舎による施設分離型で、教員、保護者、地域と協議を重ね、子どもを育てる環境を整えています。

「気づき」を築く 教育と仕組み



こうほうえんは鳥取県と東京都で事業を展開しています。東京では様々な働き方に対応するため、看護師を保育園に配置し、病状変化に対処するなどして応えているそうです。ご利用者理解では、職員のフィルター（気づき、経験）を通して行うため、主観的スキルである「気づき」に依存することから、気づきを築く教育・仕組みを整えています。

サンサンチャレンジ で生活習慣改善



サンサンチャレンジとは、3ヶ月で3キロ痩せる事を目指す取組みです。1日2回体重を測り、グラフ化し、10月に開始し、1月に終了します。体重の増えやすい年末年始を挟むこと、朝晩の体重測定を基盤としたシンプルなプログラムであること、市民がダイエットに成功したコツをまとめた「ダイエットのコツ100選」の作成などが成功の要因だと感じました。

学校適正配置の 課題と国際化



北海道新幹線の開通やG20閣僚会合の誘致など、大型プロジェクトを抱えています。小中学校適正配置審議委員会によって策定された学校適正配置基本計画は答申時の推計人口に届かず、学校統廃合の見直しを迫られていました。また、外国人が住民の1割近くになっており、多国語が使用され、小中連携教育の英語学習にとどまらず、国際化が進んでいます。

ICT環境の整備



幼（保）・小・中の一貫した教育理念を「喜茂別町教育ビジョン」で策定し、限られた財政の中で教育への手厚い予算編成が行われています。特に、ICT環境の整備に重点を置き、教員、児童に1人1台タブレットを支給、北海道教育大学の学生によるスマイル塾での指導、家庭学習や夏期・冬期休暇の学習、不登校児童等、学校以外でも活用できるようにしています。